

## 令和3年度地域教育行政懇談会の開催結果の概要について

### 1. 議題

- (1) 教育施策全般（県教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検・評価）
- (2) 今後の教育施策について（第4期教育基本計画素案など）

### 2. 日程・出席者等

(敬称略)

地域 日程	地域の教育関係者等	
	氏名	役職
丸亀・坂綾 7月21日(水) 13:00～14:30	十河 靖典	丸亀市PTA連絡協議会会長
	中井 直樹	坂出市PTA連絡協議会会長
	別所 順子	宇多津町PTA連絡協議会副会長
	山田 佐知子	宇多津中学校PTA副会長
	西城 伸二	綾川町PTA連絡協議会会長
	福家 啓明	綾川町PTA連絡協議会副会長
仲善・三観 7月28日(水) 13:00～14:30	松村 早記	善通寺市PTA連合会会長
	植木 祐里	善通寺市子ども会育成連絡協議会会長
	渡邊 志穂	観音寺市PTA連絡協議会副会長
	田井 秀典	三豊市教育委員会事務事業点検・評価員
	大西 正規	琴平町PTA連絡協議会副会長
	山田 圭一	多度津町PTA連絡協議会会長
	森本 まり子	まんのう町社会教育委員会副会長
	山本 悟志	長炭小学校PTA会長
高松・東讃・小豆 7月30日(金) 13:00～14:45	山田 士郎	高松市PTA連絡協議会副会長
	松本 学武	高松市子ども会育成連絡協議会会長
	元網 一広	東かがわ市PTA連絡協議会会長
	川田 浩子	東かがわ市PTA連絡協議会母親代表委員会会長
	羽座 仁美	土庄小学校・土庄中学校学校運営協議会委員
	九富 崇	土庄町PTA連絡協議会会長
	石田 光博	小豆島町点検評価委員
	眞鍋 勇雄	三木町PTA協議会会長
	田中 健二	三木町教育委員会事務点検評価委員会委員

### 3. 意見の概要

#### 教育施策全般（教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検・評価）

- 香川県でも教職員の不祥事が続いている。教職員同士のコミュニケーションが取れており、信頼関係があれば、未然に防げることも有るため、教職員の資質向上等の対策が重要である。
- L G B T Qに関して、保護者の立場として、自分の子どもからそういう相談を受けたとしても、なかなか対応しきれない。保護者向けの教育や研修会などを計画してほしい。
- 不登校が悪化している状況について、現実の学校には行かないけれども、ネットの世界ではちゃんと応対できている子どももいると思う。I C Tを活用した対応について考えていく必要もあると感じている。
- I C Tを活用した指導ができる教員の割合については、中学校が低いと感じる。子どもたちは、機器を渡すだけで使い方は勝手に覚えていくという状況の中で、教える側は、それを上回る知識を持たなければならない。
- 部活動の外部指導者の採用について、外部指導者による行き過ぎた指導というところもよく聞こえてきているので、外部指導者の資質向上も重要である。
- 小・中学校で血液検査をしていることについて、血液検査を教育機関でしていただけるのはありがたいが、調査した結果、どの程度の子どもに異常が出たかや、医療機関を受診した結果などについて、より周知をしてほしい。
- 働き方改革が進み、効率化を求める社会になってくると、システム化、マニュアル化は進むが、学校教育においては、それだけではいけないと思う。関係者で議論をして、意義のある研修、本当に身につく研修を実施してほしい。
- 新型コロナウイルスの影響によって、人が集まる活動が難しく、学校と地域との関わりのところが、かなり弱くなってしまったという印象を持っている。D評価となった項目については、今後の教育基本計画でもしっかり検討してほしい。
- 教員指導の研修については、テレビ会議システムにおける双方向の議論は難しいところもあるが、内容によっては、受けた方がメリットがある。
- 学力の向上にしても、心の教育にしても、体力の向上にしても、中心となって進めていくのは教員である。教師の力量を向上させ、カウンセラーやソーシャルワーカーなど、いろんな人の力を借りながら、学校教育を進めていくことが必要になってくると思うので、教員の指導力の向上というところを頑張してほしい。

#### 今後の教育施策について（第4期教育基本計画素案など）

##### （学力・社会教育等）

- 県教育委員会の委嘱で、外国人児童支援に携わっている。家庭教育の先生方も熱心に対応していると承知しているが、家庭との連携などの取組みを十分にしていきたい。また、モデル校があるということだが、その学校の見学や意見交換など、支援員の研修の充実を図っていただきたい。

- 郷土愛というところで、学校の中で1年生から6年生までの縦割りの交流は非常に多くあるが、例えば遠足や校外学習などで市町のゆかりのあるところに他校の子と一緒に行って、親交を深めるような機会があると嬉しい。大人になって県を担っていく子どもたちが県や市町のことを知り、興味を持って、ここで何かしていきたいと思うことに繋がっていくので、そういったフィールドワークのようなことも含めたふるさと教育の充実ができればよいと思う。
- 最近、滑舌が悪い子どもが多くいると感じているが、読み聞かせに参加して、耳から入ってくる言葉を、子どもたちも同じように発していくというのは、とても大事なことだと感じた。それをしない、できない親子関係とか、そういう時間が少ないことから、機会を失って、子どもがしゃべりにくくなっていくという悪循環が生まれているように感じる。
- 核家族化で、昔は家庭内で解決していたが、今は若い母親は悩みを持っていても、あまり相談できていない。社会教育として、学校と家庭と地域で連携をとって、様々な行事をしていくことが本当に大切だと思うが、行事に参加する人が少なくなっているので、PRしていくことも重要だと思う。
- 地域の人材が高齢化し、だんだんと減ってきており、今後学校と連携していくことが難しくなってくるのではと危惧している。県としても、地域人材の確保や活用について、目標を立てて取り組んでほしい。
- 子どもたちが、県外に出て戻ってこないという現状がある。そういう中で、「郷土を愛する」ということを子どもの頃から教えるのは非常に大事なことだと思うが、行政、学校だけでこれを教育することは難しい。基本的には地域や家庭での教育がベースになると思うので、行政と学校、保護者（PTA）が協力しながら、基本計画が実現できるようにしていきたいと思う。
- 県教育委員会のホームページに掲載されている、「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」は、非常に参考になる良い取り組みである。他にも、学習教材などホームページは充実している。子育てや家庭教育のサポートとなると思うので、アナウンスをしっかりとしてほしい。
- SNSの使い方に関して、子ども同士のトラブルも起きている。子どもや保護者の研修を実施するなどに取り組んでいるが、ネット指導員のシステムなどは、もっと広げてほしい。
- 小学校の統廃合により広いエリアから児童が通学している地域では、地域色、地元色が薄れていると感じる。現在、旧小学校区単位でしている放課後子ども教室をずっと継続していただきたい。
- 小学校では、新しい学習指導要領がスタートして2年目となり、授業改善に取り組んでいるところである。キーワードとして「主体的、対話的で深い学び」があるが、「令和の日本型学校教育」の答申の中でもキーワードが幾つか出されている。現在取り組んでいることと、これから取り組むべきことが、上手く繋がっていくようにしてほしい。
- 基本理念「夢と志をもって」とあるが、自己有用感のところで、「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に対して、香川県は全国平均より下回っている。小中高校生と話をしても、夢や目標を持っている子どもが多いとは感じない。勉強を頑張ったから夢があるわけではないので、この意識をもたせるのをどうすればよいのかを考えて欲しい。

## (ICT教育)

- GIGAスクール構想で、子ども一人ひとりに1台ずつ端末が行き渡ったのはいいが、ICTの活用は先生のスキルによって格差が開くのではないかという懸念がある。ICTにしても、加配の先生が必要ではないかと思う。
- 今回の指標の「授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合」について、現状では、中学校が低くなっている。中学校でもしっかり活用すべきである。オンラインでの授業は、学校に行きたくてもいけない不登校の子どもたちは助かると思う。手間はかかるが、教育の機会というものは考えてあげるべきであるので、力を入れてほしい。
- ICTの地域格差について、Wi-Fi環境がない家庭に対しての支援の検討をしてほしい。
- ICTに関連して、小学校では、担任の先生が教えているが、中学校は、各教科で先生が別々になるため、先生のスキルによって格差が大きくなるのではないかと不安である。

## (働き方改革)

- 今回の評価の報告の中で、特に「教員の方が子どもと向き合う時間の確保に努めます」という重点項目があった。学校の先生は、1日中子どもと向き合っていていただき、また他にも忙しい仕事も持っておられると思うが、なるべく心の余裕を持って、子どもと向き合っていていただきたいと思っているので、そういう心の余裕を持てるような学校の先生の勤務体系を、引き続き考えていただきたい。
- 先生もワークライフバランスと働き方改革を進めていかなければいけないと言われていて、中学校の部活動になると、先生が例えば県の大会や郡市の大会に引率していくという話を聞く。子どもにとって、いろんな大会に顧問の先生と一緒に参加することが、将来大きな自分の経験、大きな実りになると思うので、先生と一緒に大会に付いていけるような体制づくりも図っていただきたい。
- 非常にきめ細かな施策が行われていると感じるが、学校の先生方の待遇、体制を改善していくのは非常に重要だと思う。どのような先生に学ぶかで、差が出てくるのではないかと思うので、県として教育が重要というのであれば、そこに対する予算配分などを考えてやっていただければ、将来の学校の先生を確保する上でも非常にいいのではないかと思う。
- PTA活動をしていると、先生方の負担が大きいと見ていて思う。新学習指導要領に基づき、教科書が今年度変わったが、その教科書一つ変わることで、先生はタブレットの入力が増えたり、その対応が難しく忙しくなったりといった負担が増えるので、先生の負担を少しでも減らしていただきたいと思う。
- 先生方の働き方改革や子どもと向き合う時間の確保について、先生が忙し過ぎるという話が随分出た。各学校で、うちはこういうことを大事にする、ここに力を入れようと重点化するしかない。県には、そういう特色ある学校教育や、こだわりのある学校運営を容認して欲しいと思う。

## (その他)

- 県は色々な活動をされているが、保護者や子どもたちに、そこまで知られていない気がする。例えば担任の先生が紹介するなど、興味を持ってもらえるような工夫が必要である。
- 各市町で教育予算はすごい差がある。計画の取組みがうまくできるように働きかけることが大事だと思うので、よろしくお願ひしたい。
- L G B T Qに関連して、県内では多くの学校で制服が採用されていることで、保護者の間では、子ども自身の性自認との関係から悩んでいるという話も出ているが、学校では検討されていない。体の性にとらわれない制服のあり方について、検討する時期にあると思う。
- 最近千葉県でも大きな事故があったが、通学路と表示があってもスピードを出している車を見かける。登下校時の子どもの安全に関する施策等は、どのように検討されているのか。中学生の自転車通学では、ヘルメットを着用している。自転車での重大事故もあるので、高校生もヘルメットをかぶった方がいいのではないかと思う。
- 小学生が公道で自転車に乗るときのヘルメットの着用については、自治体によって異なる。交通安全対策として、県内全部の小中学生のヘルメット着用をお願ひしたい。